

学校教育目標

心豊かにたくましく共に学び伸びる子

重点目標

「あいさつ 読書 伝え合い」～言葉でつなぐ・人とつなぐ～

学校図書館の目標

- ・ 豊かな読書体験をとおして、豊かな言葉と心を育む。
- ・ 学校図書館活用をとおして、自ら学ぶ意欲と態度を育てる。

ねらい

- ・ 読書をとおして言葉を学び、美しい言葉に触れて豊かな情操を育み、広い視野に立って物事を見たり考えたりしようとする態度を育てる。
- ・ 学び方を学ぶことによって、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる知的探求心や真理を求める態度を育てる。

指導の重点

- ・ 教科、領域で実施される言語活動として、読書活動、詩の語り、読み聞かせ、ブックトークを実施する。
- ・ 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ・ 司書教諭、研修主任を中核とした「言葉づくり部」を組織し、学校図書館の機能を活用した授業の推進を図る。

各学年の重点目標

一・二年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やさしい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。</li> <li>・ 学校図書館の利用の仕方の基礎を学び、進んで情報に親しみ、楽しんで活用する態度を育てる。</li> </ul>	三・四年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な種類の本に興味を持ち、幅広く読書し視野を広げようとする態度を育てる。</li> <li>・ 進んで学校図書館を利用し、情報を集めて考える力を育成する。</li> </ul>	五・六年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な本を選び、読書をとおして、考えを広げたり、深めたりしようとする態度を育てる。</li> <li>・ 学び方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育てる。</li> </ul>
------	--	------	--	------	--

具体的な取組

【学校行事】

- ・ 「読書タイム」「言葉タイム」等による読書活動の推進、習慣化
- ・ 推薦図書、必読書の選定及び多読賞の表彰
- ・ 「子ども読書の日」及び読書週間に全校一斉読書活動の実施

【特別活動】

- ・ 学級活動における図書館の利用指導
- ・ 図書委員会を中心に自発的、自治的に図書館を運営し、読書活動の推進。

【家庭・地域との連携】

- ・ 家庭読書の実施（月1回）
- ・ ボランティアや公立図書館との連携

【各教科】

- ・ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- ・ 情報の収集、整理等、情報活用能力を養う。
- ・ 読書指導を行い、読書習慣の確立を図る。
- ・ 図書資料をとおして、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

【総合的な学習の時間】

- ・ 学び方や考え方を身に付ける。
- ・ 問題解決や探究活動に主体的に取り組む。
- ・ 系統的に情報活用能力を養う。

教育計画・指導計画の作成及び評価

広報・啓発

図書館環境の整備  
資料の充実

言葉づくり部による学校図書館を活用した授業の研究

【評価項目】 本を読むことが好きだと答える児童の割合 80%

# 令和 年度 学校図書館構想図 ○○中学校

## 学校教育目標

「こころざし」を持った子どもの育成

## 育てたい生徒像

「こころざし」を持ち自ら高める生徒

## 学校図書館の目標

- ・読書活動をととして、感性を磨き、豊かな心を育て、思考力や表現力をはぐぐむ。
- ・学校図書館の活用をととして、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う。

## 学校図書館の機能

### ○読書センター的機能

教養教育を実現する基盤となる高い水準の国語力（「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識等」）を培うため、読書習慣の確立とともに、ことばによる正確なコミュニケーション能力を育成する。

### ○学習・情報センター的機能

主体的に課題を見つけ解決する力や、自ら学び自ら考え、正しい判断ができる力としての「確かな学力」を育成する。

## 具体的な取組

### 【学校行事】

- ・朝読書の実施
- ・「子ども読書の日」及び読書週間における全校一斉の読書活動
- ・推薦図書、必読書の選定及び多読賞の表彰
- ・読書感想文コンクールへの参加
- ・ビブリオバトルの実施

### 【特別活動】

- ・学級活動における図書館の利用指導
- ・上級学校調べや職業調べ等における資料の活用
- ・図書委員会による自発的、自治的な図書館運営や読書活動

### 【総合的な学習の時間】

- ・「学び方を学ぶ」学習活動（課題設定の仕方・情報の収集、選択の仕方・まとめ方・伝え方など）

### 【家庭・地域との連携】

- ・ボランティアや公立図書館との連携（読み聞かせ・図書館整備・団体貸出等）
- ・家族読書の実施（年3回）・図書だよりの発行

### 【各教科】

国語	・詩歌や名文等の音読、朗読。 ・新聞やインターネット、事典、図鑑、白書等からの情報を活用し、討論やレポートを書く。
社会	・地図や年表、新聞、読み物、統計を活用し、観察や調査の過程と結果を整理し、報告書にまとめ、発表する。
数学	・補助教材として、図書資料を活用する。
理科	・課題解決のために図書資料を活用する。
音楽	・鑑賞活動、作曲家、民族音楽・楽器調べ
美術	・作品や作家、表現方法について理解を深めるため、図書、映像資料を活用する。
保健体育	・スポーツの技術や病気について調べる。
技術・家庭	・衣食住やものづくりについて調べる。
英語	・スピーチの題材を選ぶ。 ・英語で書かれた絵本を読む。
道徳	・様々な生き方や考え方を伝える図書資料の活用

各教科の目標を達成させるために、計画的・意図的に図書館活用学習を取り入れる。

教育計画・指導  
計画の作成

組織・体制づ  
くり

図書館環境の整備  
資料の充実

啓発・広報

教員サポート機  
能の充実

【評価項目】 本を読むことが好きだと答える生徒の割合 80%